

## A. 東葉高速の利用者負担軽減

東葉高速鉄道の通学定期の2割値下げは秋葉が八千代市長の時に実現。その後9年間も値下げが実現していません。逆に数年前、消費税率増で値上がりしてしまいました。一方、昨秋、北総鉄道は逆に大幅値下げ。通学定期の追加値下げは絶対に必要。運賃の値下げも必要。回数券の存続



(同額で枚数増等)と  
格安の1日券や3日券  
の販売回数アップ等、  
やれることは多い。

## B. 防災の強化：1号幹線対策他

市内1号幹線(旧高津川)の溢水対策には花見川改修、隣接市を含む雨水浸透や雨水貯水などが必要。そのためには、雨水タンク設置への補助も必要。大地震・大雪時等の帰宅困難者対策の強化。公共下水道の不明水対策も推進。

市長時代の多くの異常気象対応の経験を生かします。地震・津波対策議員連盟(水害も対象)の一員として、宮城県各地を視察した他、県の防災研修センターで地域防災リーダー研修を受講した成果等をさらに生かします。

## C. 感染症への弾力的対応

新型コロナの5類引き下げへの軟着陸を果たすため、県の発熱相談コールセンターは維持・拡充。また、今までコロナ疑いの方を診察してこなかった医療機関の不安を払拭すべく県が支援を行うようにします。他に、

- ・マスクやコロナワクチンに関する偏見・差別の防止
- ・コロナワクチン被害の相談・支援体制の強化
- ・超過死亡など、コロナ以外の死亡者急増の原因分析と対策

## D. 児童相談所改革

過去2年の児相別の一時保護定員増と、一人あたりの平均保護日数を分析した結果、定員増が平均保護日数の短縮に結びついていないことが判明。子どもの人権を守るため、一時保護所内の子どもの待遇改善・状況改善が必要(食事、教育を含む)。

住み続けたいと思える千葉県に(八千代市から)

# 秋葉 就一 は

市長経験と英語力を生かして県政を改善

一時保護中の子どもの受験機会の確保。

また、虐待親から子どもを守る取り組みが必要な一方で、親子再統合が可能な親とのコミュニケーションスキルを職員が向上させる必要あり。受験者が不足している児童福祉司採用増のため、修学資金貸付制度が必要。

## E. 森のようちえん等自然保育推進

2023年度に始まる自然保育推進事業は大幅前進と評価するが、「自主保育団体等」の要件が厳しすぎるので、「週5日以上」を「週〇時間以上」に変更するなど弾力的対応を求めます。

## F. 学校給食の負担軽減とオーガニック化

いすみ市や木更津市などの取り組みを支援すべき



## H. 県立学校のトイレ洋式化と大規模改修

## I. 教員未配置の解消

## J. 県民自治・県民参加の県政運営

※G～Jの詳細は、秋葉就一公式サイト等でご覧下さい

## ★実現したことなど★一部のみ掲載

- 防災の強化  
・公共下水道の不明水調査実施  
・八千代市の土砂災害警戒区域全候補地の指定完了  
・知事が公用携帯を携帯して常に災害対応(市長時代の経験を披露して知事に強く要請)

- ・台風予想時の印旛沼・新川の事前排水の実施・強化
- ・冠水現場にかけつけて県市に緊急対応依頼 →2021年8月→



## ●東葉高速鉄道

- ・熊谷知事が経営安定化支援を求めて国に要望書提出
- ・700円など格安の1日乗車券の販売回数増↓

## ●県立八千代広域公園

- ・萱田側の進捗等に関する住民説明会の開催
- 再生可能エネルギー&省エネの促進
- ・ゼロカーボンシティの宣言、窓の断熱改修助成開始
- ・公用車への電動車導入増、EV車購入助成開始
- ・庁舎や高校にLED導入、企業局の水上ソーラー改修・再稼働

## ●コロナ対策・対応

- ・習志野保健所にPCR増設、発熱コールセンター回線数増
- ・発熱外来の指定数の増加とウェブ公開、黙食の緩和
- ・飲食店の協力金申請事務を簡素化

## ●県道船橋印西線、八千代台花輪線の渋滞対策

- ・国道16号との島田台交差点に右折レーンを整備
- ・八千代台西9丁目交差点に右折レーンを整備

## ●犯罪被害者等支援条例の制定と見舞金の創設

- 不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例の制定

## ●飲酒運転の根絶を実現するための条例の制定

- 歯・口腔の健康づくり推進条例改正で、オーラルフレイル対策の推進などを追加

## 秋葉就一選挙事務所

八千代市八千代台南1-6-10-1F

TEL 047-489-5406 FAX 047-489-5407

akibasanka@yahoo.co.jp

http://shuichi.akiba.cocan.jp/